

第28回農林害虫防除研究会北海道大会プログラム

日時：令和6年10月3日（木）13:00～4日（金）15:10

会場：北海道立道民活動センター かでの2.7「かでのアスビックホール」

主催：農林害虫防除研究会

共催：（一社）日本植物防疫協会 後援：（一社）北海道植物防疫協会

第1日目（10月3日） 受付開始および開場 12:00

【開会】 13:00 開会挨拶、事務連絡

【シンポジウム】 テーマ「新しい物理的防除法 ―音と光による害虫防除―」

講演 25 分、質疑 5 分（1鈴 20分、2鈴 25分、3鈴 30分）

趣旨説明 13:10～13:20 座長：豊島真吾

（農研機構本部みどり戦略・スマート農業推進室）

講演 1 超音波を用いた蛾類害虫の物理的防除

13:20～13:50 中野 亮

農研機構植物 防疫研究部門

講演 2 集束超音波による害虫の防除

13:50～14:20 浦入千宗

農研機構 野菜花き研究部門

講演 3 振動による害虫の行動制御と防除

14:20～14:50 高梨琢磨

森林研究・整備機構 森林総研 東北支所

講演 4 視覚コントラスト効果を利用した昆虫の光誘引技術

14:50～15:20 弘中満太郎

石川県立大 応用昆虫学

（休憩 15 分）

講演 5 マメシクイガ成虫の行動リズムに及ぼす光の影響と光照射による防除効果
15:35～16:05 齊藤美樹
道総研 中央農業試験場

総合討論 16:05～17:00

【総会】 17:00～17:45

【情報交換会】 18:45～20:45 会場：サッポロビール園

第 2 日目（10月4日） 開場 9:10

【一般講演】 講演 12 分、質疑 3 分（1 鈴 10 分、2 鈴 12 分、3 鈴 15 分）

講演者は次の講演の座長を担当（1 番と11番の講演は事務局が座長）

1 アシノナイル水和剤と気門封鎖剤との混用による殺ダニ活性の向上

9:30～9:45 ○天野睦大・天野加恵・平田晃一・山本敦司

日本曹達株式会社

2 奈良県におけるナミハダニ黄緑型に対する各種薬剤の殺虫効果およびフルキサメタミドの効果の低下

9:45～10:00 ○藤森颯太¹・山口貴大²

¹ 奈良県農業研究開発センター，² 奈良県景観・自然環境課

3 調合油乳剤苗浸漬法によるイチゴの定植前ナミハダニ防除
～現地普及に向けた作業性の改善と薬害の評価～

10:00～10:15 ○上村香菜子・清水信孝

福岡県農林業総合試験場

4 メロンにおけるウリ類退緑黄化ウイルスの感染を抑制する調合油乳剤を
利用した防除体系

10:15～10:30 ○川本牧葉¹・吉永英樹²・春山靖成¹

¹ 熊本農研生環研，² 熊本県県央広域本部宇城地域振興局

- 5 長崎県のイチゴに発生するチャノキイロアザミウマC系統の発生と薬剤感受性
10:30～10:45 ○高田裕司¹・永石久美子²
¹長崎農技センター, ²長崎県北振興局
- 6 加温作型ブドウにおけるチャノキイロアザミウマ被害低減対策
10:45～11:00 ○薬師寺賢・南康 隆
岡山県農林水産総合センター
- 7 ネギアザミウマのナトリウムチャンネルモジュレーター抵抗性に関わる
アミノ酸変異の進化的起源と分布拡大
11:00～11:15 ○園田昌司¹・相澤美里²・上樂明也³
¹宇都宮大学農学部, ²香川県農業試験場, ³農研機構生物機能
利用研究部門
- 8 樹皮下に侵入したクビアカツヤカミキリ幼虫の非破壊検出法の検討
11:15～11:30 ○弘岡拓人¹・増田吉彦^{1, 2}
¹和歌山県果樹試験場かき・もも研究所, ²現 和歌山県岩出市
- 9 福島県県中地方のリンゴ園におけるリンゴモンハマキの発生消長 (2006～2020年)
11:30～11:45 ○藤田剛輝
福島県病害虫防除所
- 10 カンキツのナシマルカイガラムシに対する効果的な防除法の検討
11:45～12:00 ○池田亜紀¹・石丸晃成²・衛藤友紀²
¹佐賀果樹試 現 佐賀農試セ, ²佐賀果樹試

(昼食・休憩 60分)

- 11 飛来性害虫の殺虫剤抵抗性リスク評価 (その2)
13:00～13:15 ○山本敦司・土井誠・井口雅裕・野田隆志・山我岳史・刑部正博・
清水健・田中千晴・樋口聡志
殺虫剤抵抗性対策タスクフォース

12 殺虫剤感受性検定文献データベース作成の試み

13:15～13:30 ○刑部正博^{1,2}・山本 敦司^{1,3}・土井 誠^{1,4}・井口雅裕^{1,5}・野田隆志^{1,6}・
山我岳史^{1,7}・清水 健^{1,8}・田中千晴^{1,9}・樋口聡志^{1,10}

¹ 殺虫剤抵抗性対策TF, ² 京都市, ³ 日本曹達(株), ⁴ 静岡県農技
研, ⁵ 和歌山県かき・もも研, ⁶ 日植防, ⁷ JA全農営農セ, ⁸ 千葉県農林
水産部, ⁹ 三重県農研, ¹⁰ 熊本県立農大校

13 クリシギゾウムシの蒸熱処理による防除技術の確立

13:30～13:45 ○岩本哲弥

山口県農林総合技術センター

14 水田設置型の黄色粘着板でウンカ類の薬剤試験の効果判断は可能か

13:45～14:00 ○本田善之

山口県農林総合技術センター

15 無防除水田群におけるイネドロオイムシの被害と移植時期の関係

14:00～14:15 ○下間悠士

道総研北見農業試験場

16 ヘアリーベッチのすき込みが黒ダイズエダマメのチョウ目害虫に与える影響

14:15～14:30 ○徳丸晋虫¹・門馬悠介¹・原田 賢¹・佐藤 孝²

¹ 京都農技センター, ² 秋田県立大学

17 大阪府におけるアカハネオンブバッタの発消長

14:30～14:45 ○城塚可奈子

(地独) 大阪府立環境農林水産総合研究所

18 松くい虫防除で予防散布と樹幹注入をしても枯れる場合があるのは何故か

14:45～15:00 ○本山直樹¹・阿部 豊²・田畑勝洋³

¹ 千葉大, ² 阿部樹木医事務所, ³ 元 森林総研

【閉会】 15:00～15:10 閉会挨拶、事務連絡